

驅逐艦電沈没一件

0547

至急

馬大臣官

海軍

三丈

十二月十七日午前三時三十分

至急報

發信者 第四駆逐隊司令

受信者 大臣

電報譯

軍務局

左ノ電、電身組徳永機隊長ヲ受領ス五時
十分、高速力試験ニ了リ函館ニ向テ航行中
高船錦龍丸ト衝突シ、沈没ノ機アリ速
速ニ上機曹一大塚ニ警行、不明ト無事
本船ニ救ワレ、曙ニ収容サレ、積船長人事
不省、救護中、勅諭安全責要書、歎ハ収容ス

錦龍丸、洲川号六六〇トシ

神戸洲川安福、千代丸

0548

寫
大臣官
房調製

軍務局

新

四十三年土

月十七

日午

一

時十五分

大港

局發

本省着

海軍

受信者 海軍省副官

電報譯

發信者 大要副官

蒼徳永機関長ヨ當港破泊臆馳逐隊司令へ
電報ニ告シ同馳逐隊司令ヨ午前三時發
ルモノナリ曙ハ今函館ヨ歸港ノ途ニ
遊長ハ今朝函館病院ニ入院シタル
容伴問合セ中ナレドモ未ダ不明多分生命
關係ナカラシ行衛不明ノ上等機
貞吉ナリ

船台納

12-17

0549

傳令局

標

明治四十二年十月十七日

日午前

十時三十分

大湊

局發
本省着

海軍

發信者

受信者

大臣

大要司令官

電報譯

電 衝突概位置葛登支岬燈臺ノ北微西
 四分ノ三西二哩沈没概位置ノ大自岬岨ノ南東
 微東二哩曙八年前七時遭難者收容ニ報
 告ノ爲ノ函館出發緊急航セリ同艦着上詳
 細報告ス

和合坊

0550

至急田臨見

軍務局



人事局



司法局

局員



0551

田寛後軍務局戻

災厄遭遇ス上機曹一大塚二曹行衛不
 明外無事本私救アレ署之収容サル積
 艦長人事不省救護申勅諭出全重男
 去款ハ収容ス

及領ス
 向ケ
 沈没

司令

軍

船令納

0552

錦? 660

至急報

至急報

十一月十七日午前

三時三十分

宇多ノ局發

海軍

發信者 第四馬隊司令

受信者 大員

井出

電報譯

井出

左ノ電 電業組 德永機長ヨリ 受領ス

五時十分 高速度 試験 了リ 函館ニ 向ケ

航行中 商船 金丸ト 衝突シ 逐ニ 沈没

、災厄ニ 遭遇ス 上機 曹一 大場ニ 曹行 衛不

明外 無事 本船ニ 救ヲレ 署ニ 収容サル 積

艦長 人事 不省 救護 申勅 諭 未全 重要

去 款ハ 収容ス

船台印

0552

海軍

2、 辨別

JDLV

241160

hey

30 戸沼川 ちね

留置司令

青い巾着 (十月十考)

子竜胆長士付 徳田文雄

加古川隊 檜木 林自之村 徳永誠

上等 林岡 兵四 菊田 林吉

十一月廿九日 八重山 子 朝素

0556

電

軍務局

艦政本部

人事局

軍令部

十二月十七日午前九時五十分

九ノ内 本署

海軍

出

受信者大臣

電報譯

發信者 大湊要港部司令官

十六日電 高力運轉ノ為メ出港午後五時十分
 運轉ヲ了リ函館ニ向テ航行中汽船錦龍
 丸ト衝突シ遂ニ沈没セリ上機曹一大塚二曹
 計ニ行衛不明 艦長人事ノ不省重要去款
 ハ凡テ收容セリト報告アリタリ尚ホ航路ヲ遭
 クノおメ函館方面ニ派遣中

附合納

0557

電 報 送 達 紙

局 著		局 發				名 氏 所 居 人 信 受	
當 務 者	受 信 午 時 分	受 信 午 時 分	第 號	月 日	報 局 指 定		
ヌ ウ コ ウ セ リ ト ノ ホ ウ	✓ 7 ル イ 7 ス ベ ル テ ウ	✓ カ ル イ ウ コ ビ ウ ウ ウ	ニ ソ キ ソ イ ニ ハ = モ テ	ヲ ケ タ ソ ウ ニ セ リ カ	二		
事 記					番 號 第	名 氏 所 居 人 信 受	
					號	印 附 日 局 著	

製局刷印月四年六十三治明

0559

海軍

十月十六日午後九時二十分電

電報業ウナ

大差

無謀者

副官

イナマ

電(沈没)、電報亦四駆逐隊司令ヨリ

大臣宛妻領セリ全船及曙、出港、

電報、昨日未夕交領セム、詳細、

未至急電報セリ

() 暗号

0561

海軍

十一

月十七日午前七時

四十分

本局發

發信者

大港要港司長

受信者 副官

電報譯

答 艦船発着報告規則第二十二條ニヨリ特ニ
報告セズ 電報 詳細ハ今取調中分リ次
テ電報ス

船台防

0562



電報送達紙

局著		局		發		名氏所居人信受	
當受 務信 者	信 使 七 時 五 九 分	付 使 七 時 九 分	第 一 號	第 一 號	報 指	報 指	カ キ コ ウ
エ シ ク マ ハ イ マ リ ト リ		リ ト ク セ ウ コ ク セ ズ		コ ク エ カ セ ハ ツ ク		官 報	
エ シ ク マ ハ イ マ リ ト リ		リ ト ク セ ウ コ ク セ ズ		コ ク エ カ セ ハ ツ ク		第 五 號	
エ シ ク マ ハ イ マ リ ト リ		リ ト ク セ ウ コ ク セ ズ		コ ク エ カ セ ハ ツ ク		注 意 他 人 宛 に 送 ら れ た 電 報 は 其 由 を 付 送 し 直 ち 之 を 配 達 す 取 本 人 へ 直 送 し 又 は 手 渡 す へ か ら す	
エ シ ク マ ハ イ マ リ ト リ		リ ト ク セ ウ コ ク セ ズ		コ ク エ カ セ ハ ツ ク		名氏所居人信受	
エ シ ク マ ハ イ マ リ ト リ		リ ト ク セ ウ コ ク セ ズ		コ ク エ カ セ ハ ツ ク		カ キ コ ウ	
エ シ ク マ ハ イ マ リ ト リ		リ ト ク セ ウ コ ク セ ズ		コ ク エ カ セ ハ ツ ク		印 附 日 局 書	
エ シ ク マ ハ イ マ リ ト リ		リ ト ク セ ウ コ ク セ ズ		コ ク エ カ セ ハ ツ ク		42.12.17	

0563

製局刷印月四年八十三



電 報 送 達 紙

局 著		局 發				名 氏 所 居 人 信 受	
受 信 信 務 者 時 分	受 信 午 時 分	付 受 午 時 分	月 日	第 號	報 局 指	名 氏 所 居 人 信 受	
知 入 下 二 本 一 ウ ス					事 記		
番 著 信 第 號						名 氏 所 居 人 信 受	
印 附 日 局 著						名 氏 所 居 人 信 受	

製局刷印月四年八十三治明

0564

人事局

軍務局

井出

重要案

明治四十二年十二月十七日

十二月十七日 日發付済

海軍大臣 大角 素直

海軍

大要副官宛

海軍大臣宛

左ノ件直ニ返電アリ反ニ

今朝打電セラルル司令官ヨリ大臣宛ノ電

報ニ何処ヨリ有ル通信ニヨリ各部ニ交

送セラレシヤ又曙ノ目下ノ所在地及電報長

甚後ノ状態及行衛不明ノ上未機要吾官

ノ姓名

0565

電

軍務局

艦政本部

軍令部

明治四十五年十月十七日 午前 十時 〇分 大湊 局發
本省着

山

山

受信者 大臣 大要司令官

電報譯

電 衝突概位置葛登支岬燈臺ヲ北微西
四分ノ三西ニ湮沈概位置ヲ大鼻崎ヲ南東
微東ニ湮曙八午前七時遭難者收容ニ報
告ノ爲ノ函館出發急航セリ同艦着上詳
細報告ス

海軍 行動簿

0566

電 報 着 信 紙 0567

局 着		局 發				名氏所居人信受		
取扱者	受信 付午前 後	受信 付午前 後	月	日	報局	左		
	時分	時分	字	號	報局			
指 定 記 事 手 記						番着 號信	紙數	名氏所居人信受
						八	第四 五 號	八
						印附百信着		葛野支店

至急

海軍

甲子年三月十七日

午後一時十五分

大隈

海軍省

大要副官

本省着

局發

軍

受信者

海軍省副官

發信者

大要副官

電報譯

軍務局

人事局

谷徳永棧関長ヨ當將破泊臆駆逐隊
 司令ハ、電報ニ告ヲ同馳進隊司令ヨリ
 前ニ三付受領ニタルモノナリ曙ハ今函致
 事ノ帰港ノ余ニヨリ「電駆進隊長ハ今朝
 函致病院ニ入院ニタル者甚堪、容俾問合也
 中ナレドモ未ダ不明多分生命ニ關係ナラズ行
 衛不明、上ホ棧関兵曹ハ加川貞吉ナリ

船谷前

0568

電 報 着 信 紙 0569

局 着		局 發				名氏所居人信愛	
取扱者	受信 午後 一時 分	受信 午後 九時 分	三月 十日	報 局 號	報 局 號	愛信人居住姓名	
定 指 事 記						番着 號信 數紙 名氏所居人信愛	
(Large block of handwritten Japanese text, likely the message content)						第五 三 號	
						印附日信着	

電 報 着 信 紙 0570

局 着		局 發				名氏所居人信受		
取 扱 者	受 信	付 午 後 前	付 午 後 前	第	報 局	報	報	
	時 分	時 分	日	號				
<p>Handwritten Japanese characters (likely a list of names or addresses) written vertically in columns. The characters are somewhat stylized and difficult to read precisely, but appear to be organized in a grid-like fashion corresponding to the form's structure.</p>						指 定		
						番 着 號 信	數 紙	名氏所居人信發
						事 記	第 五 四 號	
							印 附 日 信 着	

堀向大尉、容体公報、後電報

十月廿九日



正徳三年十月廿九日、海軍省抄付

新海島南浦原新井村を以て書付

堀向昌玄丸

駈込船電、中々、午後、函館沖、終、多、漢、
船、下、衝突、し、沈没、せり、堀向大尉、收容、し、
当、時、人、事、不、有、ナリ、と、古、の、函館、病院、に

堀

屋

0571

中興氣象台圖書

西平 電話



0573

函 籍 了 達 也 心 電 報 二 俵

年 号 二 時 電 電

電 火 二 降 心 症 凡

年 号 十 巧 電 電

晴 快

M四	鈕
D、	狀
五	听
口	火
徑	半
十	藥
二	砲
管	日
狀	
火	

供覽

大正

人事局

出

十二月十七日 午後五時

時分

大正

海軍

發信者 大正海軍部

受信者 省別友

電報譯

電 驅逐艦長 外部創傷ナシニ三週間
内回復見込 收容人員内也ニ患
者ナシ 函館水上監査場ヨリ直ニアリタリ

船令

0574

電 報 着 信 紙 0575

局 着		局 發		名氏所居人信受		
取扱者	受信 付午後 七時 分	付午後 二時 分	三月 九日	報 局 號	報	
受信 付午後 七時 分 報 局 號				指 定	報 局 號	
				番 號		名氏所居人信受
				事 記		名氏所居人信受
受信 付午後 七時 分 報 局 號				番 號 第六 〇 號	名氏所居人信受 報 局 號	
受信 付午後 七時 分 報 局 號				印 附 日 信 着	名氏所居人信受	

電

軍令部

艦政本部

人事局

軍務局

三月十七日午後五時五十分大港

局發

本省着

海軍

受信者 大臣

發信者 大港要港部司令官

電報譯

電ハ十六日午後五時高力運轉ヲ終リ矢越
岬ヲ北西二哩半ノ位置ヨリ北東二分一北ノ
針路ヲ取り漸次速カク減シ約十五分即ニテ
函館ニ向フノ途五時三十分頃島登支岬ヲ北
北西約二哩ノ位置ニ於テ錦龍丸ノ船首小衝
突シ右舷後艙室ト機軸室ノ隔壁附近ヲ破
ク西室ハ直ニ漏水右舷分離室ヲ破壊ス

船谷 稿

0576

海軍

月 日 午

時 分

局發
本省着

發信者

受信者

電報譯

沈降下シイセクター使用ノ途断ハタルモ急東
 沈没セサル見込ニテ錦龍丸ヲ右舷ニ横着
 船ヲ以テ電ノ船体ヲ釣り揚ゲ弁天崎
 附近ニ坐山岸セシメン目的ニテ曳行徐行シ夕
 リ七時五十分頃ニ至リ浸水ノ為メ中央沈下
 シ首尾浮上シ危険ノ頃向ヲ呈シタハ三時
 総員退去ヲ命ジ艦長神通少尉大塚一等

船台納

0577

海軍

月 日 時 分

時 分

局發
本省着

受信者

電報譯

發信者

信号兵一水兵一錦龍丸ニ移乗ス同時ニ西尾ハ
 艦尾ヲ先ニ沈没セリ艦長等ハ救助船ニテ救ヒ
 揚ゲラル錦龍丸同夜十一時函館ニ入港シ遭
 難者ヲ曙ニ移セリ上等機附兵曹加川貞
 吉ハ衝突ノ際蒸気ノ為メ燒死セリ如シ大
 塚ニ曹ハ弱死ト認ム明日早朝艦ヲ函館ニ
 汎遣シ沈没位置ノ精測損所調査其他

船名納

0578

海軍

月 日
月 日

時 分
時 分

局發
本省着

發信者

受信者

電報譯

後任末ニ從事セシム

了

箱巻助

0579

紙 信 着 報 電 0582

局 着		局 發				名氏所居人信受	
取扱者	受信	付午後	付午後	第	報		
		後前	後前	月	局		
		時	時	日	號		
		分	分	日	號		
<p>Handwritten Japanese characters (likely a list of names or addresses) written vertically in columns.</p>						定指	
						番着	紙
						號信	名氏所居人信發
						第七二號	
						事記	
						印附日信着	

電 報 着 信 紙 0585

局 着		局 發				名氏所居人信受	
取扱者	受信 午後 後前	付受 午後 後前	月	第	報	<p style="text-align: center;">3</p>	
	時	時	日	號	局		
	分	分	字	報	報		
<p>ウ エ オ カ ス ニ ヲ</p> <p>ト ナ モ キ ス ニ ヲ</p> <p>ニ / / 7 = = (ハ)</p> <p>ト / / カ ヲ セ ハ</p> <p>ム / / カ ヲ ヲ ル</p> <p>ア / / ヲ ヲ ヲ</p> <p>ス / / ト ヲ ヲ</p> <p>ノ / / ヲ ヲ ヲ</p> <p>タ / / ヲ ヲ ヲ</p> <p>ト / / ヲ ヲ ヲ</p>						定 指	
						番着 號信	名氏所居人信發
						第七 五 號	
						印附日信着	

親

世

年号不明 海軍省 別名

大津海軍部 年表長化
電報 海軍省 別名

（アハ）ヨリ（カ）宛、（イ）沈没、固ル
電報 宛在、年表長化 電報アリ
ケレ 宛在、年表長化、大津海軍部
況、錦旗宛、所有主其宛教報、損
害ノ状況、宛在、年表長化、所
地 上京司令及、明後十九日午
名 宛在、年表長化、宛在

（坂根製）

0587

六區濟

軍務局

海軍

十二月十八日午前〇時四十分
十一月十八日午前一時三十五分
局發
本省著

發信者

大港要港部参謀長

受信者 海軍省副官

電報譯

天候半晴 風位北々西、軟風海上平滑
車番() 錦龍丸、所有者 函館千
島汽船株式会社 六百六十噸 同船ハ(ステム
ノ破損シタルモ浸水、患ナシ 尚ホ精細ハ右刻
通報ス 曙ハ當時 函館 碇泊

船寄納

0588

電 報 送 達 紙

局 著		局 發				名 氏 所 居 人 信 受	
當 務 者	信 受 午	付 受 午	第	月	日	報 指	局 定
受 信 時 分	時 分	時 分	號	號	號	報 指	局 定
<div style="font-size: 2em; font-family: cursive;"> 2 </div>							
<div style="font-size: 1.5em;"> 電 報 送 達 紙 </div>							
<div style="font-size: 1.2em;"> 電 報 送 達 紙 </div>							
<div style="font-size: 1.1em;"> 電 報 送 達 紙 </div>							
<div style="font-size: 1.0em;"> 電 報 送 達 紙 </div>							
<div style="font-size: 0.9em;"> 電 報 送 達 紙 </div>							
<div style="font-size: 0.8em;"> 電 報 送 達 紙 </div>							
<div style="font-size: 0.7em;"> 電 報 送 達 紙 </div>							
<div style="font-size: 0.6em;"> 電 報 送 達 紙 </div>							
<div style="font-size: 0.5em;"> 電 報 送 達 紙 </div>							
<div style="font-size: 0.4em;"> 電 報 送 達 紙 </div>							
<div style="font-size: 0.3em;"> 電 報 送 達 紙 </div>							
<div style="font-size: 0.2em;"> 電 報 送 達 紙 </div>							
<div style="font-size: 0.1em;"> 電 報 送 達 紙 </div>							

注意 他人へ宛たる電報の配達を受けたる者は其由を付箋に直ちよ之を配達したる電信局所に返戻すべし決して其受取本人へ直送し又は手渡しすべからず

著信 番號 第 號

名氏所居人信發

印附日局著



明治三十三年八月四日印刷

0590

至急

寫大馬
房調製

海軍

十二月十七日午前

二時五十八分
三時三十分

宇多局發
九ノ内本署

至急報

發信者 第四駆逐隊司令

受信者 大臣

電報譯

左ノ電、電業組徳永機関長ヨリ受領ス五時

十分高速力試驗了、函館ニ向ケ航行中高船

錦龍丸ト衝突、逐ニ沈没、火死ニ遭遇ス

機曹一大塚二曹行衛不明外無事、本船ニ救

レ署、救急箱ナル積航本人事不省、救

中局、勅諭、其全重、要書、款、収容ス

人事局

醫務局

經理局

主任局員

電報

電報

船務部

0591

既承 船電 昨午 度五 時十分 頃 坂ノ 所 渡ル
 行矣 甚 且 二 中 導ノ 知ル 船 及シ 加川 上 暮 城 矣 甚 焉
 卜 大 塚 幸 三 書リ 来 不 能 船 也 遂 破 爲 境 之 以 也
 ちり 七 也 二 三 也 一 也

駟 函

0593

起案紙第一號

明治三十三年十二月十七日 起案
大正十一年四月十七日 發行
發行者 後地 櫻井 梅印

(主務) 軍務局長 柄 局員

大臣 齋

次官 參事官

副官

人事局長 司員 東總 荒

明治三十三年十二月十七日

待命局長 櫻井梅印

發送番號 官房第四三二二號

每頁

0594

電

海軍後軍務局 庚申

軍務局

政本部

第三部

和

船

海軍

十月廿四日午後三時

海軍大臣 大瀧要港部司令官

電報

午後一時十分 電報 北 船 艦 四 駆 逐 隊

電沈没 精測 北 置 大 鼻 崎 南 十

二度 東 燈 南 北 三 七 度 本 東 葛 屋

支 燈 南 上 五 度 西 船 損 害 箇

Various circular stamps and seals on the left margin, including names like 金田, 鈴木, and others.

三

艦 三 12-22 12-20

12-20

0597

紙 信 着 報 電 0599

局 着		局 發				名氏所居人信受	
取扱者	受信	付受 午後 後前	付受 午後 後前	第	報	<p style="font-size: 2em; text-align: center;">ハ</p>	
	9時	10時	3月	八	局		
	分	分	日	號	報		
<p>Handwritten text in Kuzushiji script, including names and addresses.</p>						定 指	
						事 記	
番着 號信		數紙	名氏所居人信受				
		第	ハ				
		一					
		〇					
		號					
印附日信着							

電 報 着 信 紙 0602

局 着		局 發				名氏所居人信受	
取扱者	受信 付午後 後前	付午後 後前	第	月	日	報	局
	時 分	時 分	號	日	號	報	局
<p>定 指</p> <p>事 記</p> <p>番着 數紙 名氏所居人信受</p> <p>第一六號</p> <p>印附日信着</p>							
<p>ス コ ニ キ ヨ ウ ハ ナ ハ ナ</p> <p>ニ 九 七 口 ハ シ セ</p> <p>イ フ カ シ テ</p> <p>サ イ フ ヨ ナ ハ シ テ お</p> <p>オ キ ハ シ テ イ</p> <p>セ リ タ ル タ ク セ サ イ</p>							

供覽

海

軍務局

司法局

電報



并出

曩ニ報告セシ駆逐艦電沈没状況ニ関シ
別紙・通旭川憲兵隊長ヨリ報告有之
美聞友報告美也

明治四十二年十二月二十三日

憲兵司令官谷田文衛

局員

海軍大臣男爵齋藤實毅

三十一

局員



憲兵司令官



明治四十二年十二月二十三日

0603

旭川憲兵隊長報告 十二月十九日

十二月十六日午後五時三十分北海道渡島國葛

登支岬沖二哩四分一、個所、於大湊要港

部所屬駆逐艦電、千島汽船株式會社

所有汽船錦龍丸(六百六十噸)ト衝突シタル後

沈没セリ

當日ハ風ナク且ツ曇天ニモアラズ殊ニ双方共航海

燈(ランプ)モ明瞭ニシテ錦龍丸カ小樽ニ向ケ航

行中電ハ錦龍丸、前面ヲ横切ラシトセシ

錦龍丸船首ハ電ノ右舷後部、衝突ヨリ依テ

錦龍丸船長ハ電船長ノ命ニ依リ衝突場所

0604

ヨリ電ヲ引船キテ區館港、向ケ約四哩ノ所ニ到
リ電ハ浸水ノ爲メ午後八時迄ニ沈没セリ
電乗組總員方十二名、内六十名ヲ錦龍丸收容シモ加
川上等機関兵曹及大塚二等兵曹、二名ハ行儀
不明トナシリ
錦龍丸ニ收容シタル人員中船長以下五名ノ負傷
者アリ船長ハ區館病院ニ入院セシメ他ハ全部
區館ニ入港シ居タル駈逐船曙ニ收容シ曙ハ大
湊ニ向ケ出帆セリ

0605